

一般質問…ここが論点

12月定例会

12月定例会中、11月30日、12月1日、2日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録(3月上旬発行予定)を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム(3月上旬掲載予定)をご覧ください。

松本昌成(公明党)

「事業仕分け」制度の導入について

問 市の仕事を、国・県または民間がやるべきかを洗い直す「事業仕分け」制度を導入する自治体が増えており、成果を上げているので、当市も取り組む考えはないか。

答 今年、事務事業評価制度による全事業の評価が終了するため、「事業仕分け」のメリットも取り入れながら評価制度の見直しを行いたい。

高齢者虐待防止法への対応について

問 高齢者虐待防止法が18年4月に施行されるが、市の取組みについて伺う。

答 介護保険制度に基づく地域包括支援センターの事業として市の責務となるので、職員の配置等体制の整備充実を図りたい。

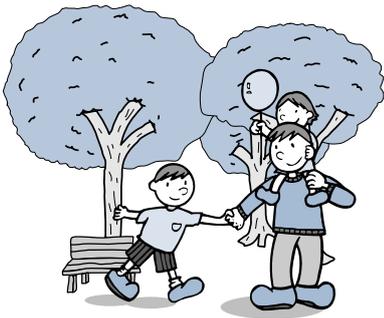
伴 捷文(市政クラブ)

竜田浜海岸道路の早期着工について

問 この道路は、西浦半島西側の幹線道路として、観光産業や漁業関係者の物流と利便性の向上に寄与するものと考ええる。また、西浦サーキットの渋滞解消に役立つため、早期着工を強く要望する。

答 地域の産業振興と災害時の重要な路線と認識している。形原西浦線の完成後に整備したいが、県施工の臨港道路部分の協議も精力的に行いたい。

蒲郡市の人口動向は



問 人口減少に歯止めをかける方策はどうか。

答 少子化対策は非常に難しい問題だが、人口定住化のため、産業振興をはじめ総合的に住みよいまちづくりを努めたい。

鎌田篤司(新政クラブ)

新型インフルエンザ対策について

問 多数の死者も予想される新型インフルエンザにどう対応するか。また、タミフルの備蓄は十分か。

答 国・県から行動計画が示されていないが、情報収集に努め、関係機関との連携も十分に取りたい。

一般住宅、工場等のアスベスト対策は

問 市内の使用状況と除去あるいは飛散防止工事に対する助成制度はあるか。

答 一部の工場等で使用を確認しているが、一般住宅ではほとんど使用されていない。市の融資制度を活用してもらいたい。



アスベスト除去工事を行う形原中体育館

その他の質問
1 蒲郡発地域ブランドの積極的な産業支援

日恵野佳代(日本共産党)

子育て支援策の充実を

問 蒲郡市の出生率は東三河の中で最下位である。少子化対策として、子どもの医療費の無料化年齢の1歳引上げ、保育の充実、専業主婦の子育て支援を求めらる。

答 保育園の年度当初における待機児童の解消、一時保育にリフレッシュ利用を検討する。